

上野公園グランドデザイン検討会報告書（概要）

上野公園グランドデザインのねらい

目的： 上野公園グランドデザインは、上野公園の将来像を明確にするとともに、将来像を実現するための方向性と基本施策等を示すことを目的とする。
検討のねらい： 長期的な視点に立って上野公園の将来像を示すとともに、概ね10年後を見据えた具体的取組の方向性を提言する。

上野公園の将来像

『日本の顔となる「文化の森」の創造』 ～世界に向けて日本の文化・芸術を発信する拠点づくり～

○日本の顔としてふさわしい文化・芸術があふれている

○美しいみどりと水の景観が形成されている

○国内外の多くの人々が集い、にぎわっている

「文化の森」の創造に向けた施策

世界に向けた『文化』の発信強化

- ① ミュージアムコンソーシアム（共同事業体）の設立
- ② 魅力のある多様な文化イベントの招致・開催
- ③ 文化施設の充実と展示等活動の強化
- ④ 文化施設と公園の一体感の創出
- ⑤ 歴史資源の保存と活用
- ⑥ 情報発信機能の強化

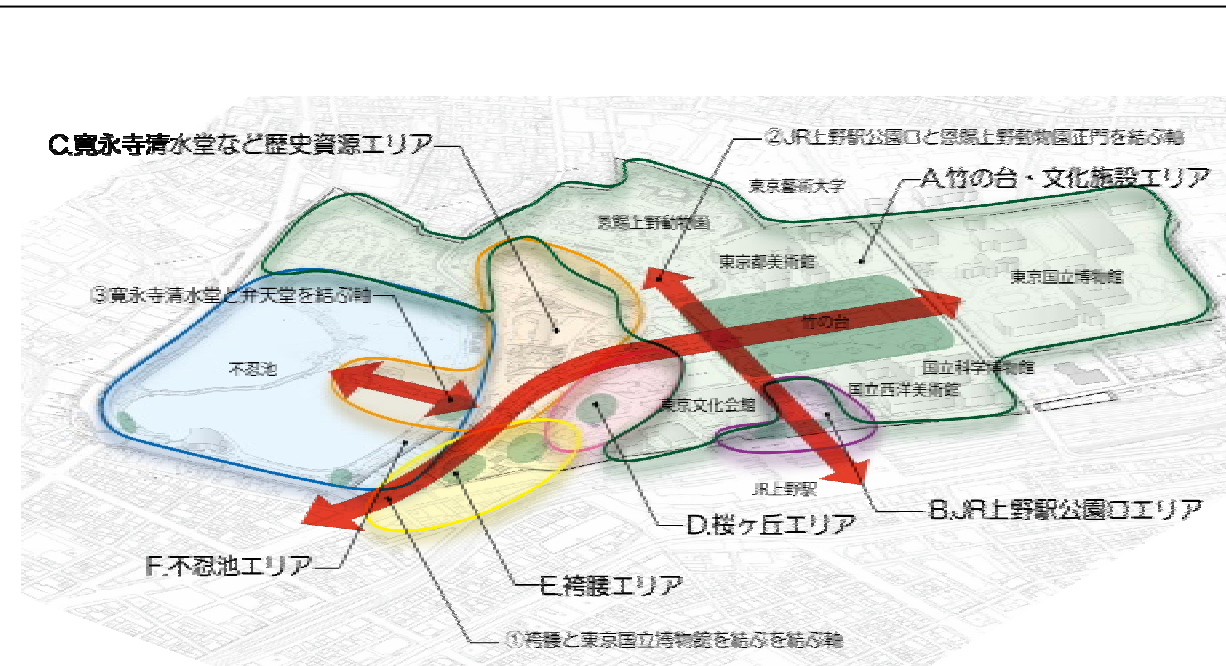
魅力あるみどりと水の空間創出

- ① 「文化の森」の中核となる広場空間の創出
- ② 四季折々の表情が楽しめる、明るく魅力ある林の再生
- ③ サクラの再生と花見空間の復活
- ④ 下町情緒が感じられる親水空間の創出
- ⑤ 公園内の景観の向上と公園と調和した周辺景観の形成
- ⑥ 歴史性を活かした魅力ある景観の再現と創出

快適な利用の推進

- ① 公園の顔となるエントランスづくりとまちとのつながりの強化
- ② 回遊性の向上
- ③ 安全性の向上
- ④ 飲食施設の充実
- ⑤ ユニバーサルデザインの推進

「文化の森」の創造に向けた上野公園の整備イメージ



整備イメージ

- A 竹の台・文化施設エリア**
 - ・ 竹の台広場を「文化の森」の中核となる大広場として整備
 - ・ 憩いやすらげる大木中心の明るい林の創出
 - ・ 都美術館、動物園正門周辺の整備
- B JR上野駅公園口エリア**
 - ・ 来訪者の安全で円滑な歩行者動線の確保
 - ・ メインエントランスに相応しい風格ある広場の整備
- C 寛永寺清水堂など歴史資源エリア**
 - ・ 寛永寺清水堂から不忍池への眺望景観の再現
- D 桜ヶ丘エリア**
 - ・ 多種のサクラの植栽などによる桜の名所の復活
- E 袴腰エリア**
 - ・ 歴史が感じられるエントランス広場の整備
- F 不忍池エリア**
 - ・ 下町風情を体感できるイベント広場の整備
 - ・ 蓮見を楽しめる親水性の高い池畔の整備
 - ・ ハスの生育環境の改善や不忍池の水質の改善



竹の台広場の整備イメージ（例）



不忍池畔の広場と清水堂からの眺望景観のイメージ（例）

提言の実現に向けて

- ① 役割分担の明確化と関係機関の連携強化
- ② ソフトとハードの調和を図った取組
- ③ 実現に向けた段階的な取組